

フィボナッチ, トリボナッチ, ..., n ボナッチ

問題 1 1 と 2 だけの足し算を使って 10 にする方法は何通りあるか。ただし, 順序を変えて同じになるようなものも別の場合とする。例えば,

$$1 + 2 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 = 10$$

$$2 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 = 10$$

は別の場合と数える。

[解] 求める場合の数を F_{10} とする。一般に 1,2 のみの足し算で n を作る方法の数を F_n で表す。10 を作る足し算は最後が +1 で終わる場合と, +2 で終わる場合のふた通りに分けることができる。つまり,

$$\cdots + 1 = 10 \quad (1)$$

と

$$\cdots + 2 = 10 \quad (2)$$

である。(1) の \cdots は F_9 通りあり, (2) の \cdots は F_8 通りあるので,

$$F_{10} = F_8 + F_9$$

である。一般に

$$F_{n+2} = F_n + F_{n+1}$$

$$F_1 = 1, F_2 = 2$$

なのでこれはフィボナッチ数列となる。つまり

$$1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, 34, 55, 89, \cdots$$

の第 10 項が答である。

$$F_{10} = 89(\text{通り}) \cdots (\text{Ans.})$$

問題 2 1,2,3 の足し算を使って 10 にする方法は何通りあるか。ただし, 順序を変えて同じになるようなものも別の場合とする。例えば,

$$1 + 2 + 3 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 = 10$$

$$2 + 1 + 3 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 + 1 = 10$$

は別の場合と数える。

[解] 1,2,3 のみの足し算で n を作る方法の数を T_n で表す。前問と同様に考えれば,

$$T_{n+3} = T_n + T_{n+1} + T_{n+2}$$

$$T_1 = 1, T_2 = 2, T_3 = 4$$

このような数列はトリボナッチ数列と呼び,

$$1, 2, 4, 7, 13, 24, 44, 81, 149, 274, \cdots$$

の第 10 項が答である。

$$T_{10} = 274(\text{通り}) \cdots (\text{Ans.})$$

問題 3 任意の自然数の足し算を使って n にする方法は何通りあるか。ただし、順序を変えて同じになるようなものも別の場合とする。

求める場合の数を A_n とすると、

$$A_n = \sum_{k=1}^{n-1} A_k$$

$$\therefore A_n - A_{n-1} = A_{n-1}$$

$$\therefore A_n = 2A_{n-1}$$

$A_1 = 1$ なので、

$$A_n = 2^{n-1} \dots (\text{Ans.})$$

つまり等比数列である。 n ボナッチ数列の最初の n 項も当然ながら、同様の等比数列となる。